

木曾岬町未来づくりかわら版

発行：木曾岬町総務企画課 発行日：平成25年9月20日
連絡先：0567-68-6101

第2回木曾岬町第5次総合計画策定委員会を開催しました！

【開催概要】

- 日時：平成25年9月5日（木曜日）
午後1時30分～午後3時40分
会場：木曾岬町役場 会議室
参加者：委員20名（欠席者4名）
議題：（1）総合計画の策定経過について
（2）木曾岬町第5次総合計画現状と課題について
（3）木曾岬町第5次総合計画基本構想（案）について
（4）今後の総合計画策定の進め方について



【結果概要】

議題（1）総合計画の策定経過について

事務局より、総合計画の策定経過について報告しました。町民の方に関係の深い、主なものは以下の通りです。

日程	内容
H24.11.1	町民アンケート調査実施 （町民1,000人対象）
H25.1.15	第1回総合計画策定委員会 開催
H25.1.16	中学生アンケート調査実施 （1、2年生120人対象）
H25.5.11	第1回まちづくりサロン開催
H25.6.1	第2回まちづくりサロン開催

議題（2）木曾岬町第5次総合計画

現状と課題について

事務局より、第5次総合計画の策定にあたって整理した「現状と課題」について説明を行いました。

「人口動向、産業動向、土地利用など資料・データからみた基礎的概況」「町民アンケート結果」「中学生アンケート結果」「まちづくりサロンの結果」などを踏まえて、概況特性は以下の8点に整理しました。

- （1）人口減少、高齢化、若者の定住意識
- （2）災害に対する不安
- （3）後期高齢者・独居高齢者の増加
- （4）地球環境問題・エネルギー
- （5）農業を取り巻く環境変化
- （6）市街地の整備
- （7）まちづくりや活動を支える人材
- （8）財政力・産業立地



議題（3）木曾岬町第5次総合計画

基本構想（案）について

委員から次のような質問が出されました。

- ・目標人口や年齢3区分別の人口はどのように算出したか。国の人口問題研究所の推計結果と違う。子どもが増えるには出産する年齢層も増えないとおかしい。
- ・まちづくりサロンで出された「高台への避難場所の整備」に町としてどのように対応するのか。
- ・「生活保護者」「後期高齢者」などの細かな数字は把握しているか。
- ・カタカナの言葉が多いので、なるべく、ひらがなや漢字を用いた日本の言葉で書いてほしい など

町としては、

- ・推計人口は「社会移動率」「出生率」など東海地方は国よりも高い数字を用いて推計しているため、国の推計結果より多い数字となっている。
- ・目標人口は「住宅市街地の拡大」「子育て支援策の成果」等の数字を積み上げている。施策の中身と効果を上げる年齢層の動向を整理して報告する。
- ・「防災対策」については非常に重要であるため、まちづくりの方針の最初に掲げている。
- ・個別分野の施策内容やデータについては、次回以降の基本計画の検討の部会で検討する。

議題（4）今後の総合計画策定の進め方について

事務局より、今後の総合計画策定の進め方について説明しました。

今後、各分野の施策・方針を示す基本計画を検討していきます。2つの専門部会を設け、専門的知識を持った大学の先生にコーディネーターとして入っていただいて議論を進めます。

各専門部会の、部会長、副部会長は以下の通りです。

総務建設部会	部会長 岩崎恭典教授（四日市大学） 副部会長 浅井文雄委員
教育民生部会	部会長 伊東眞理子教授（同朋大学） 副部会長 三輪一雅委員